

平成24年度 第1回 津波シミュレーションモデル利活用検討委員会

日時：平成24年8月7日（火）15:00～17:00

場所：財団法人下水道新技術推進機構 特別会議室

議 事 次 第

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 資料の確認
4. 委員紹介（資料1）
5. 議事
 - （1）委員会設置趣旨（資料2）
 - （2）津波シミュレーションを活用した耐津波対策について（資料3）
 - （3）マニュアル記載概要について（資料4）
 - （4）今後のスケジュール（資料5）
6. 閉会

《配布資料》

資料 1 平成 24 年度 津波シミュレーションマニュアル活用検討委員会 委員名簿

資料 2 設置趣旨(案)

資料 3 津波シミュレーションを活用した耐津波対策について

資料 4 マニュアル記載概要について

資料 5 今後のスケジュール

参考資料 1 耐津波対策を考慮した下水道施設設計の考え方

参考資料 2 津波防災地域づくりに関する法律

参考資料 3 東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会報告

参考資料 4 設計津波の水位の設定方法等について

参考資料 5 「40. 津波危険地域における建築基準等の整備に資する検討」中間報告書その 2

参考資料 6 津波浸水想定の設定の手引き

平成24年度
第1回 津波シミュレーションモデル利活用検討委員会 委員名簿

	氏 名	所 属 ・ 役 職	出 欠
委員長	藤間 功司	防衛大学校システム工学群建設環境工学科教授	○
委 員	榊井 正将	国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業課課長補佐	○
委 員	森田 弘昭	国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部 下水道研究官	○
委 員	松井 宏樹	地方共同法人日本下水道事業団事業統括部 アセットマネジメント推進課課長代理	○
委 員	甲野藤弘憲	仙台市建設局下水道経営部下水道計画課主幹	○
委 員	松田 宏人	神奈川県県土整備局河川下水道部下水道課グループリーダー	○
委 員	長谷川浩市	横須賀市上下水道局技術部技術推進課長	○
委 員 代理出席	橋ヶ谷秀士 有田 卓司	静岡県交通基盤部都市局生活排水課計画班班長 静岡県交通基盤部都市局生活排水課計画班主査	○
委 員	阪本 哲	愛知県建設部下水道課主幹（整備）	○
委 員	秋元 建一	高知県土木部公園下水道課チーフ（下水道担当）	○

津波シミュレーションモデル利活用検討委員会 ＜設置趣旨＞（案）

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震では津波により人命、財産、地域に未曾有の被害が生じた。下水道施設も津波による初めて甚大な被害を受け、多くの自治体で下水道機能が停止した。南海トラフでは近い将来、巨大地震による津波発生が懸念されており、早急な耐津波対策の実施が求められている。

国土交通省が設置した「下水道地震・津波対策技術検討委員会」の第 4 次提言（平成 24 年 3 月）によると、今後、下水道施設において津波対策を行うにあたっては、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波を想定するべきであるとされている。この最大クラスの津波の発生確率は極めて低いものの甚大な被害が発生するため、自治体の厳しい財政状況を勘案して、下水道が有すべき機能の必要度や緊急度に応じた効率的な津波対策が求められる。

下水道施設の効率的な津波対策には、精度の高い被害想定等が必要となるが、現状においてこれらの手法は確立されていない。このような状況を踏まえ、財団法人下水道新技術推進機構では、平成 23 年度より「横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会」において、詳細な津波シミュレーションを用いた津波被害予測手法や対策効果の確認手法、都市域の氾濫解析に用いられている海外の流出解析モデルの津波シミュレーションへの適用性について研究を行っている。

上記のような背景のもと、耐津波対策を効率的に行なうために津波シミュレーションモデルを利活用する際の基本的な考え方や留意事項を取りまとめると共に、津波シミュレーションの利活用方法を明らかにする技術マニュアル策定を目的に本委員会を設置するものである。